



歌浦っ子だより (学校だより)

「やさしい心 夢かがやく 歌小の子ども育成」

平成30年10月17日 文責:校長 内野義和

後期が始まりました

10月5日(金)に前期終業式、9日(火)に後期始業式を行いました。前期終業式では、前期を振り返って、1年生 内山田さん、3年生 柴田さん、5年生 内山田さんが次のようなことを発表しました。

1年生 内山田さん…あいさつ・返事・音読ができた。漢字を早く書きたい。

3年生 柴田さん……友達と仲良くできた。水泳をがんばった。漢字をきれいに書くようにがんばりたい。

5年生 内山田さん…大きなあいさつができた。気持ちのよいあいさつをしたい。男子ばかりでなく、女子とも仲良く、5年生のきずなを深めたい。3人とも元氣よく堂々と発表をしました。後期始業式では、後期への思いとして、2年生 大円坊さん、4年生 小田さん、6年生 山頭さんが次のようなことを発表しました。

2年生 大円坊さん…計算力をさらにつける。宿題の漢字をきれいに書く。テストの見直しをしっかりする。

4年生 小田さん……時計を見てすばやく行動する。自分からあいさつをする。

6年生 山頭さん……苦手な算数がんばる。漢字の読み書きをしっかり練習する。

先の3人と同じように、この3人も元氣よく堂々と発表しました。私からは、次のことを話しました。

- ① 後期の行事の紹介とそれぞれにしっかり取り組むこと。
- ② 学校目標を達成するようがんばること。
 - 「やさしい心」
 - ・気持ちのよい3つの「あ」と返事・反応に取り組むこと。
 - ・校長が「あとかたづけ」推進運動、教頭が「ありがとう」推進運動をする。各学級でもしっかり取り組むこと。
 - 「夢かがやく」
 - ・読書の秋。いろいろな本を読むこと。



・実りの秋。さらに学習をがんばること。

③ 誕生日はお祝い？

○ 誕生日はお母さんが子どもを産む際にとっても苦しい日です。祝ってもらう前に、まずお母さんやお家の人に産んでくれてありがとう、育ててくれてありがとうと言うことが大切ではないでしょうかと話しました。

後期は、「感動ある教育」をすることも目指しています。「感動する話」「考えさせられる話」「自然や歌浦のすばらしさ」などを教師が話したり、そういう思いをもつような体験をさせたりして、子どもの感性をさらに豊かにしていきたいと思っています。ご家庭でも、絵本の読み語り、体験談などの語りをしていただくと、ありがたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

本校でつきたい力

はじめに4月に実施した市・県・全国の学力調査の結果を報告します。

(4年生の市の学力調査結果)

○ 国語・算数とも**市の平均、全国の平均を10ポイント以上超え**ました。

(5年生の県の学力調査結果)

○ 国語・算数とも**市の平均、県の平均を5ポイント以上超え**ました。

(6年生の全国の学力調査結果)

○ 国語Aは、市・県・全国の平均に少し届きませんでした。**国語Bは、市・県・全国の平均を少し超え**ました。算数Aは、市の平均は少し超えましたが、県の平均と同じで、全国の平均に少し届きませんでした。算数Bは、市の平均と同じでしたが、県・全国の平均には少し届きませんでした。**理科は、県の平均を5ポイント以上超え**ました。

4年生、5年生は昨年度までの学力向上対策の成果があがっていました。子どもたちの努力はもちろんと、教職員の授業改善、保護者の皆様の家庭学習での協力、サポートティーチャーの方々やチャレンジ先生の方々の支援のおかげです。6年生の結果は気になりました。理科については、成果があがっていましたが、国語、算数については平均か、やや平均より下ということでした。実は6年生は、4年生の市の学力調査も、5年生の県の学力調査も平均を超えていました。これらのことを学校で分析しました。結論として、市の学力調査や県の学力調査の成果が全国の学力調査の結果に表れてこないというのは、子どもにつけている力に違いがあるのではないかとということでした。つまり、**知識として身に付けさせてはいますが、使いこなすことができるというところまではできていないのではないかと**ということです。新聞等で全国学力調査の問題を見られたことがあるかと思いますが、難しいというより、学んだことを使って生かしていかなければならない問題が多いのです。前回書きました、「**『できた』『わかった』で終わるだけではだめだということです。獲得した知識を使わなければなりません。生かしていかなければなりません。難しい世の中になりました。しかし時代はその力を今後必要**」につながってきます。

では、どうすればよいかを次回書くことにします。(字が小さくて申し訳ございませんでした。)